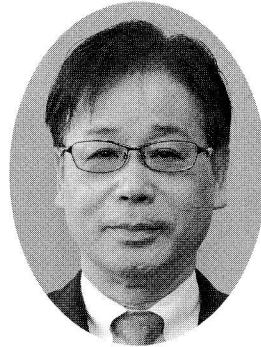


大垣の青少年

光る君たちへ

大垣市教育委員会 教育長 細江 敦



「写真撮ってもらってもいいですか？」天気が良い休日に訪れた行楽地で、声をかけられることがあります。絶景をバックに記念写真が撮れるフォトスポットには家族、友人や恋人などたくさんの人々の笑顔があふれていて、写真を撮る私の声はいつもより弾み、自然と頬が緩みます。今となっては悪い夢でも見ていたような、コロナ禍のマスク着用や人との接触を制限されていた3年間は、私を含め多くの方も気持ちが内向きに

なるような感覚に陥り、本来にぎやかに聞こえる子ども達の話し声や笑い声のトーンさえも低いように感じられたのではないかと思えます。

また世界に目を向けてみると、ロシアによるウクライナ侵攻、イスタンブールとパレスチナを巡る問題など、社会情勢が不安定化し、様々なところで人道危機が叫ばれています。状況が改善するようには見受けられません。連日ニュースでは、人間の愚かな所業の犠牲となつている社会的弱者の苦難や、気候変動による自然の驚異を目にし、子ども達の未来を憂えざるを得ません。

一方でこんな状況の中でも、メ

大人も子どもも 社会のルールを 守ろう

毎月第三日曜日は家庭の日

発行

大垣市明るい青少年
都市市民会議

事務局
大垣市教育委員会
社会教育スポーツ課内
電話四七七八〇六三(直通)

この冊子は
公益財団法人
大垣市
青少年育成
財団からの
助成を受け
て作成して
います。

のは、何事にも感謝の心を忘れな
いことだと彼等から学ぶことがで
きます。

閉塞感のある社会情勢の中でも、
一流と言われる人の夢と目標に向
かってひたむきに努力する姿や、
おごり高ぶらず謙虚な立ち居振る
舞いから垣間見える人間性は人々
を魅了し、彼等自身を光り輝かせ
るものとなっていることが分かり
ます。

また世界に目を向けてみると、
ロシアによるウクライナ侵攻、イ
スタンブールとパレスチナを巡る問
題など、社会情勢が不安定化し、
様々なところで人道危機が叫ばれ
ています。状況が改善するよう
には見受けられません。連日
ニュースでは、人間の愚かな所業
の犠牲となつている社会的弱者の
苦難や、気候変動による自然の驚
異を目にし、子ども達の未来を憂
えざるを得ません。

また、このように目標に向かって
努力することと同じように大切な

最後になります。未来のある
青少年が目標を持ち、人間性豊か
に成長していくには健全な地域社
会が必要です。その基盤となるの
はやはり「家庭」であり、「地域」
のつながりや絆がかかせません。
青少年は、家族だけでなく学校・
地域との関わりの中で、自尊心
や自己肯定感が育まれていきます。
光り輝く未来ある青少年のため
にも、まずは私たち大人が襟を正し
ていかなければならないと考えて
います。

す。比べることで勉強のモチベーションを高めたり、ライバルと競い合ったり、いい面もあります。しかし、「比べる」とは本当にいいことばかりなのでしょうか。

僕は双子で弟です。みなさんは双子を見たときに何を思いますか。「そっくり」「背の高いほうがお兄さんかな。」どんなことを思うでしょうか。僕が小学五年生の時、それまで二クラスあったクラス数が、学年の人数が少なくなったことで一クラス減り、兄と同じクラスになりました。家では兄とずっと一緒にいたけれど、学校では、クラスも違ったので、あまり一緒にいることもありませんでした。ですが、クラスが同じになったことで学校でも少しずつ関わる機会が増えていきました。そしてクラスの雰囲気慣れ始めた頃から、友達からよくこんな質問をされるようになりました。「尊心と奏心、どっちが勉強できるの。」
「尊心と奏心、どっちがサッカー、うまいの。」
僕たちを比べる質問を、色々な場面で何回も聞かれました。聞かれると僕は、友達に自分が兄

よりも勝っているところを教え、あとは何もいみませんでした。その時は「自分のほうが兄に負けているのは嫌だ。」という思いで言っていました。ふと、僕は気づきました。質問に答えることで、必ずどちらかが良く聞こえ、もう片方が劣っているように聞こえるのではないかと、だから僕は聞いてくる子に逆に質問をしました。「なんでそんなに僕たちを比べたがるの。」

すると、「双子だからなんだか比べたくなっちゃうじゃん。」と答えました。これを聞いて僕は「双子だから」という理由で嫌な質問をこれから先もされて、ずっと比べられながら生きていくのかと思いきや悲しい気持ちでいっぱいでした。

ちょうどその日の放課後、家でテレビを見ていたら双子の人たちが数組出ていました。その人達の話の中で「どうしてみんなはそんなに僕達を比べたがるの。」と言っていました。僕と同じことを思っている人がいました。さらに、たくさんの方があの質問に困っていることに驚きました。

その中で、「双子でも、別々

の人間なんだから、一人一人の良さを認め合うことが大事だと思います。」と言っていました。それを聞いて僕は、なんだかともうれしくなりました。「双子でも別々の人間として良さを認め合っていけばいい」これからは、気にしすぎずに生きていけると思いました。

もし身近に双子がいるのなら、その人たちには、それぞれ得意なことや、苦手なこと、好きな食べ物などそれぞれ違います。この話を聞いてそれぞれの良さを認めてくれるととてもうれしいです。

比べることはいい面もありますが、僕のように辛い思いをしている人もいます。クラスの中や友達の中でもあると思います。子どもの僕たちだけでなく、大人でもいろいろな場面ではないでしょうか。自分ではどうすることもできない体のことや家族のことを比べられたとしたら、とても理不尽だと感じませんか。そもそも「比べる」は必要なのでしょうか。「簡単に比べるのは、よくないことだよ。」「みんながみんな違うから、いいんじゃないの。」その言葉だけでその人はきつと

救われます。一人一人が違うからこそのいいんだということが当たり前になることで、誰もが自分らしくのびのびと生きられると思います。もう一度みなさんに聞きます。無意識にしている「人と人とを比べる」こと、それは本当に必要な「比べる」ですか。

大垣市明るい青少年都市市民会議とは？

大垣市明るい青少年都市市民会議では、「大人も子どもも、社会のルールを守ろう」をテーマに掲げ、全市的な運動として積極的に推進し、「地域の子どもは、地域で守り育てる」という共通認識をもって活動しています。青少年育成推進委員会などの青少年育成団体や学校と連携して、小中学生の意見や夢を発表する少年の主張大会や「家庭の日」推進を目的としたふれあい清掃活動、青少年や青少年団体、青少年育成団体の顕彰などを、青少年の健全育成を進めています。

(公財)大垣市青少年育成財団は次の企業の皆様から寄付金をいただいています。

令和6年3月1日現在

- 揖斐川工業(株) イビデン(株) 宇佐美組
- 上田石灰工業(株) (株)エヌビシー
- 大垣ガス(株) (株)大垣共立銀行
- 大垣西濃信用金庫 (株)大光 河合石灰工業(株)
- 岐建(株) GINET(株) コダマ樹脂工業(株)
- (一社)摩晶会 サンメッセ(株) シーベック(株)
- (株)十六銀行大垣支店 (株)セリア 太平洋工業(株)
- 太平洋精工(株) 東海サーム(株)
- 日本耐酸塩工業(株) (株)ボンフォーム
- 矢橋工業(株)

(あいうえお順)